

ゆいちゃんはシラタガリー!! お加装ってなあに? 星木レイ



浄土宗コドモタイムズ

第53号

発行 浄土宗児童教化連盟

発行人
 三宅 明信
 〒833-0013
 筑後市北長田706-2
 林鐘院内
 TEL 0942-52-5524
 FAX 0942-54-1189

赤とんぼ

詩・絵 今井康隆

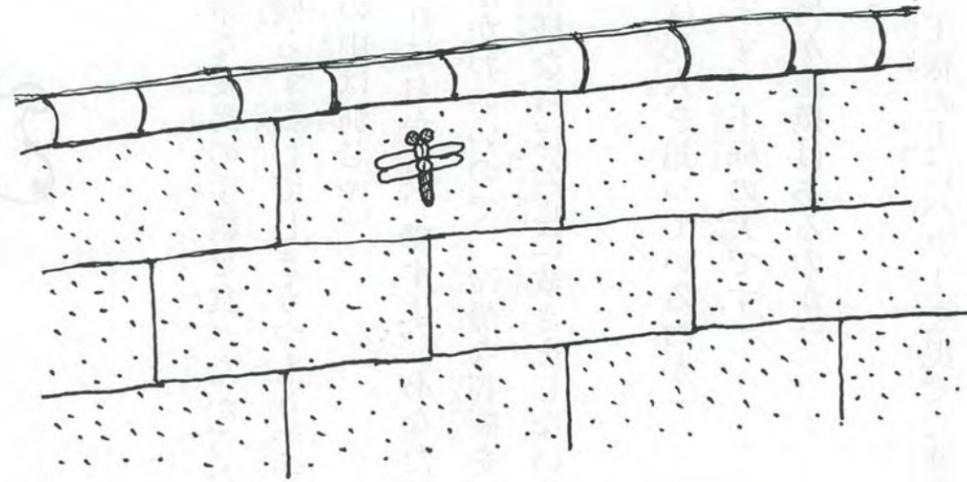
赤とんぼ
 じつとしていて
 うごかない

赤とんぼ
 そんなに秋の陽
 うれしいか

おひさまうけて
 あたたまり
 ますます赤く
 なるのかな

コンクリぬくもり
 うれしいか
 じつとしていて
 へんじがない

そのままゆつくり
 あったまれ



お釈迦さまと動物のお話

勇気ある白い犬

犬は猫とやらんで人気のあるペットです。

「桃太郎」や「花さかじいさん」など、おとぎ話にも出てきますので、ずっと昔から暮らしに身近な動物だったのですね。

犬は日本だけでなく外国でも人気のある動物です。仏教の物語にも犬が登場します。

昔、あるところに数百匹ののら犬が住んでいました。その集団を率いているのは一匹の白い犬でした。

ある時、その国の王様がかわいがっている馬の革の手綱（馬をコントロールする綱）が食べられてしまいました。家臣たちが調べてみると、馬小屋にはたくさんさんの犬の足あとが残っていました。

家臣らは王様に報告します。

「王様、どうやら犯人は町ののら犬たちのようです」

王様は、

「町中の犬を殺してしまえ、手綱を食べた罰だと家臣に命じました。」

それから町では犬狩りが始まりました。それを知った犬たちは、リーダーである白い犬に助けを求めました。

白犬は聞きます。

「馬の手綱を食べたのはだれだ」
犬たちは首をふって

「われわれは犯人ではありません。われわれはお城の中には入れませんから：お城でかわれている王様の犬が食べたのでしよう」と答えました。

「それならばわかった」

と白い犬はお城に堂々と乗りこんで行きました。そして王様に向かって言いました。

「王様、どうしてわれわれを殺そうとするのですか」

「わしの大事な愛馬の手綱を食べたからだ」

「では一匹残らず殺してしまうつもりですか」
「いや、城の中は別じや」

「王様、それはおかしいですよ。あなたは自分の馬や犬がかわいいので、冷静な判断をされていない。王様ならば公正に裁きをしないといいけません」

「ではお前は犯人を知っているのか」

「知っています、王様の犬です」

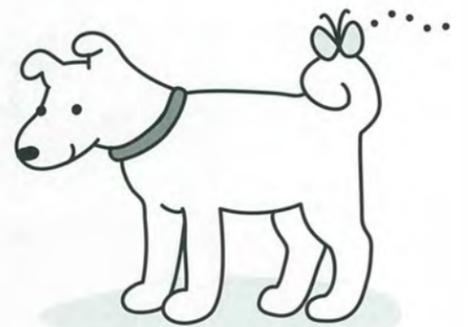
「何だと、何か証拠はあるのか」

「あります」

白い犬は、王様の犬にバターを混ぜた薬草を食べさせました。すると王様の犬はげろつと革の手綱をはき出しました。これを見た王様は恥ずかしく思い、白い犬にあやまりました。

それからというもの、王様は公正な政治を行うようになりました。

この時の白い犬は、お釈迦さまの前世です。





質問

私のおばあちゃんの名前は「法」と書いて「みのり」と読みます。辞書を調べてもそんな読み方は載ってません。どうしてそのように読むのですか。

(愛知 高校生 女子)

答え

法は「のり」という読み方はありますが、「みのり」はないですね。

みのりとは本来「御法」と書きます。法律の「法」ですが、仏法、つまり仏さまの教えのことをいいます。「御」は尊敬の意味です。仏さまの教えを敬い尊んで「みのり」といいます。「法」の一字で「みのり」と読むように名づけられたのですね。

おばあちゃんのご両親が仏教を信仰しておられて、仏さまに関する名前をつけられたのではないのでしょうか。

みのりさん、とても良い名前ですね。

子供

「七五三」

年中行事

もともとは平安時代の中ごろから行われていた行事です。おもに十一月に行われます。

昔は今のように医りようが発達していないので、子供が早くに亡くなってしまう、育ちにくかったのです。そのため節目節目で無事に成長したお祝いをしました。一歳になると初誕生をお祝いし、二歳には最初の七五三をお祝いしました(昔は数え年といって生まれた年を一歳として、新しい年を迎えるごとに一つずつ年令が増えますので、三歳のお祝いを満二歳で行いました)。

数え年では誕生日がいつの日であつても、新年一月一日になったら全員が一つ年をとるのです。ですから昔の日本では、初誕生を除いて誕生日をお祝いしませんでした。

七五三のお祝いは、男女三歳で

お祝いするのが髪置といつて、髪の毛をのばし始める式を行います。男子五歳でお祝いするのが袴着といつて、初めて袴をはくお祝いです。男女とも七歳でお祝いするのが帯解といい、着物にぬいつけているひもを取って、帯に替えるお祝いをしました。

七五三はその年まで無事に育つたことを神さま仏さまに感謝するとともに、これから元気に育つようにお祈りします。子育ては、お父さんお母さん、おじいさんおばあさん、兄弟・姉妹、親類の人たちなど多くの人たちが関わっています。目には見えないけれども、神さま仏さまが見守ってくださっているおかげがあることを感じ取ってください。

一般的には神社でされる場合が多いですが、お寺で七五三を行うところもあります。

これも仏教の言葉だよ!

「懺悔」



自分の犯した罪悪を、仏さまの前で告白し悔い改めることです。キリスト教では「さんげ」と読みますが、仏教では「さんげ」とにこりません。「懺」は古いインドの言葉「クシヤマ」（忍の意）の音訳、「悔」はその漢訳です。つまり懺悔はインドの言葉と中国の言葉の合成語なんです。浄土宗のお勤めの中に「懺悔偈」があります。我昔所造諸悪業 皆由無始貪瞋痴 従身語意之所生 一切我今皆懺悔

私が今まで作ってきた罪、悪業は遠い昔から持っている貪（むさぼり）と瞋（怒り）と痴（おろかさ）の心が身（身体）と口（言葉）と意（心）とを通して現れ出たものです。今仏さまの前で、心から懺悔します。

人は法律上の罪、社会的な罪はおかさなくても、むさぼりや怒り、愚かさの心という宗教上の罪を知らず知らずのうちにおかしているものです。それらの罪を仏さまの前で悔いて、許しをこうことが大切です。

お勤めの中に「懺悔」の文をお唱えするのは、清らかで謙虚な心で仏さまに向かいましょうとのことです。

ちがいがし

みんなよう 考えよう



絵：岡本こずえ



右の絵と左の絵の違いを6つ見つけてください。

ハガキに答えを書いて左記まで送ってください。正解者の中から抽選で30名に記念品をお送りします。記事の感想や意見もいっしょに書いてくださいね。しめきり1月30日です。

送先

〒833-0013 筑後市北長田706-2 林鐘院内 浄土宗児童教化連盟事務局
TEL 0942-5215524
FAX 0942-541189

前回の答え



お知らせ

◆みなさんからの記事を待っています。学校でのこと、家の中でのこと、家族のこと、友だちのことなどを書いて送ってください。またみなさんからの作品も待っています。絵や作文、お習字など何でもけっこうです。

◇送り先は 〒833-0013 筑後市北長田706-2 林鐘院内 浄土宗児童教化連盟事務局

TEL 0942-5215524 FAX 0942-541189

感想もいっしょに書いてくださいね。

ぶくぶく編集室



音読って知ってますか。本などを声に出して読むことです。国語の時間に、みんなの前で教科書を声に出して読むことがありますね。反対に声を出さずにだまって本を読むことを黙読といいます。ふだん本を読む時は黙って読みますね。

でも古代ローマやギリシアでは本を読む時には、大きな声を出して読むことが普通だったそうです。日本でも明治のころまでは、音読だったそうです。しかしだんだんと本はだまって読むようになくなりました。

ところが近年、声を出して読むことは、脳を活性化させる効果があることが科学的にわかったのです。記憶力がよくなったり、頭の回転がよくなったり、眠気が覚める、集中力がアップする：いろいろな効果が報告されています。そういえば九九も声に出して覚ええました。暗記する時も発声して覚ええました。

スマホやパソコンなどしゃべることなく作業できることが多い世の中ですが、音読によって声を出して脳を活性化することも大事です。